

合格体験記 K.M

2021 年中小企業診断士 2 次試験に合格しました、K.M (42 歳) です。

2 回目の 2 次筆記試験で合格となりました。

私が MMC に通学しながら日々やってきたことをまとめましたので、これから学習される皆様の少しでもお役に立てれば嬉しいです。

### **【受験歴】**

R1 1 次合格、2 次不合格 [ A(66) B(57) B(55) B(53) ]

R2 1 次免除、2 次合格

### **【1 年目にやったこと】**

2 次筆記試験の勉強は、過去問、ふ〇〇〇などの参考書、受験者支援団体のブログ、YouTube などを活用して独学で行いました。得点開示の結果はそれなりだったものの、どんな答案を書けば点数をとれるのか、まったくわからない雲を掴むようなこの試験に、独学でこれ以上臨むのは無理だと感じて MMC の門戸を

叩きました。

### 【MMC を選んだ理由】

- ① 毎年、多くの合格者を輩出しており、合格率が非常に高い予備校だった。
- ② キーワードと型を用いてさまざまな設問に対応できる MMC メソッドは完成度が高く、是非抛りどころにしたいと感じた。
- ③ 学術的な勉強・知識の取得というより、そのメソッドを叩き込む練習が中心のある意味体育会的な勉強方法だったこと。(良い意味で、です！)
- ④ 先生方に温かみがあり、生徒一人一人に向き合ったアドバイスをしてくれる(くれそうだった) こと。
- ⑤ 独学では叶わない、答練のフィードバック(赤入れ&アドバイス)が魅力的だった。

### 【MMC での勉強方法・やったことについて】

MMC では、STEP2 から型とキーワードを用いた答案を作成する練習(答練)

がはじまるかと思いますが、1度問いて終わりではなく、同じ答練の復習を徹底

的に何度も何度も繰り返しやりました。最初はうまく書けないのですが同じ事例を3度も4度も復習していると、型やキーワードが体にしみついてきます。多少問われ方が違って、「いつもの、あの」MMCらしい解答がだんだんと書けるようになります。80分という時間との戦いの中で、染み付いた型とキーワードでササッといつもの答案を置いてくる。これは、本試験においても本当に心強かったです。このスピードがMMC受講生の強みであると思っています。実際に私が行っていた勉強方法は下記のようなものです。

#### <前期 2月~4月>

- ・1月から通期（水曜）でお世話になりました。
- ・STEP2、3の同じ答練をひたすら、何度もやる。（週に3・4回）書く練習。
- ・答練の問題で出てくるものを中心にキーワードを風呂場などで唱える。

※キーワードはマトリクスに載ってるものから、使い勝手のよいものを更に厳選しました。

#### <中期 5月~8月>

- ・4・5月のGWにあるオプション財務講座を受講しました。
- ・オプション講座でもらえる財務問題を朝に4問解く。

※試験直前までずっと回し続けます。

- ・答練や模試で出てきた設問をテーマ別（SWOT、事業展開、組織、人事）でまとめて、寝る前に設問と模範回答を見る。
- ・週に2回くらいは書く練習をする。（事例1から3で成績悪かった答練など）
- ・風呂でキーワード唱えるのもずっと継続。
- ・財務の知識ノートなるものをつくり、答練や日々の勉強で気になったものなどを書き留め、おぼえる。

Ex. 為替予約と通貨オプションの特徴、企業評価の手法（収益還元法など）の説明、M&Aの形態（TOB、MBO、MBI）、IRRの求め方、企業価値・ターミナルバリュー、連結子会社のメリデメ・・・など一般知識を問われても説明できるように。

### <後期 9月・10月>

- ・今までの答練や模試などで苦手なテーマの設問（SWOT、事業展開、組織、人事）などを複数問並べて見直す。
- ・過去問は解かずに、設問と模範回答をチェックする。
- ・週に1度は「書く」練習をする。
- ・ひたすら財務問題を解く。

※オプション講座の問題 + 今までの答練や模試で解けなかったものなど。

- ・直前スパーリングを2回とも受講。

※直前スパーリングの受講は、直前期にフィジカル・メンタルを整えるのにおすすめです！

学術的なインプットの学習はほぼしておりません。今思うとキーワードも風呂で唱える必要もなく、答練や復習を通じて身につけていくと思います。とにかくひたすら書いて、練習して、安定した品質の答案が本番でもすばやく書けるよう意識を集中して取り組みました。体育会系の私にはこのような勉強方法は本当に合っていたと思います。

### 【先生方へお礼】

・勉強方法に加え、心構え・精神論にいたるまで広範囲でアドバイス・サポートを頂きました徳川先生。財務の不得意な私にいつも気をとめて頂き、いやらしく・完成度の高い問題をいつも提供して頂きました中居先生、伊藤先生。記述講座で時間配分や見る箇所など細かく丁寧なご指導を頂きました西先生・長谷先生。答練のフィードバックでの的確なアドバイスをいつもいただきました勝山先生、口述でも本当にお世話になりました中矢先生、本当に 1 年間ありがとうございました。仕事との両立も大変でしたが、先生方のご指導・楽しいお話を糧に続けることができたと思っております。

## 【これから MMC で学ぶみなさまへ】

80 分という極めて短い時間の中で、事例文を読み、500 字くらいを書く。とても厳しい試験だと思います。「時間が足りなくて間に合うのか間に合わないのか、ドキドキする」1 年目の独学性の私はいつもこんなことを考えていました。

しかし、MMC にはそれを解決する強力な武器が用意されています。それを身につけるのに、もちろん練習は欠かすことができませんが、つまづいた時にも親身に相談にのってくれる経験豊富な先生方がたくさんいらっしゃいます。

どんな事例が来ても「同じように対応できるような対応力」を高めたい。そういった方にはとても合っている学習・練習方法だと思いますので、その方法を信じて勉強を頑張って頂けたら幸いです。